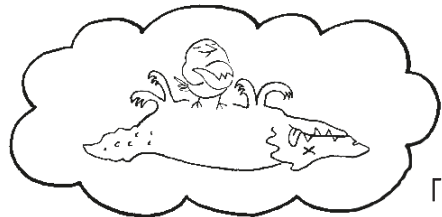


ぼくは、みんなのための「ぼく」だった
——子どものこころの歩みに耳をすます絵本、小学校小・中学年向け。

ぼくは むくどりヘンリー

アレクシス・ディーコン 文 ヴィヴィアン・シュワルツ 絵 青山南 訳

2020年6月25日刊行 本体1500円 大型本(248×288)・上製40頁 ISBN978-4-910154-06-0 C0771



「わたし」のめざめと、「みんなのために」と……

子どものこころの歩みを、音楽のように目で聴く、絵物語。

「あ、ぼくはかんがえている」、チュンチュン、ピーク、さわがしく暮らしていた、むくどりヘンリーが、ある日、ふと気づきます。「ぼくはヘンリーだ」。うれしさのあまり、「ぼくって、すごい」。

でも、この考えは怪物に食べられて、たちまち粉々に。そうだ、だれかさんの、ごはんになっただけだけだ。でも、ぼくにはしなきゃならないことがある、みんなのために。「みんな」のための「わたし」へ、親指ヘンリーの大冒険。



カクイチ研究所の絵本

土、水、石と風……自然といのちの面白さ、不思議さ、奥深さを伝える絵本のシリーズ、その第4弾です。

既刊、サム・ボウトン 絵と文、青山南となかまたち 訳

『ふつうじゃない庭をつくった男の子』

ダン・ヤッカーノ 絵と文 青山南となかまたち 訳

『もぐらのモリス』

ジュリー・フォリアーノ 文 クリチャン・ロビンソン 絵

田中一明 訳

『空を飛びたくなったら』

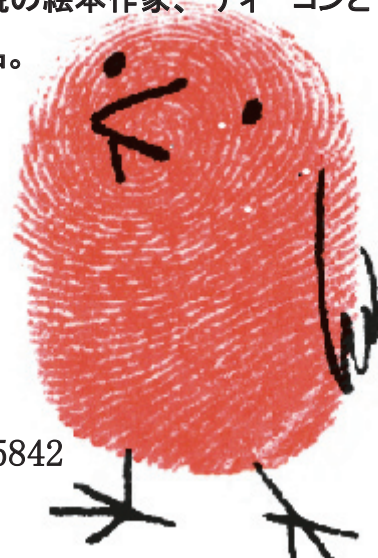
続刊、シンシア・ライラント 文 ブレンダン・ウェンツェル 絵

田中一明 訳

『いのち』

ご期待ください。

子どものコミカルな発想と行動を描いて、日本で評判を呼んだ前作『ぼくたちの いえは どこ?』に続く、イギリスの気鋭の絵本作家、ディーコンとシュワルツのコラボ作品。



〒162-0805 東京都新宿区矢来町122 第二矢来ビル3F Tel.03-5228-5842

締め切り 6月15日 Fax.03-5228-5843

ぶねうま舎

アレクシス・ディーコン 文 ヴィヴィアン・シュワルツ 絵

ぼくは むくどりヘンリー

大型本(248×288)・上製 40頁 本体1500円

ISBN978-4-910154-06-0 C0771

貴店印

冊

新刊委託